

# 公共施設 大量更新問題

## 第4回「市の財政状況と将来への備え」

### 【前回のおさらい】

高度成長期に建設された大量の公共施設は、老朽化が進んでおり、近い将来、一斉に改修や建て替えの時期を迎えます。

今後、少子高齢化によって、人口が減少する一方、社会保障関連経費が年々増加する中で、公共施設の大規模更新に必要な多額の財源確保が課題となっています。

1



公共施設の改修や建て替えに多額の費用が必要になるけど、市の財政状況はどうなっているの？

本市の歳入は、市内に立地する企業の大規模設備投資に伴って固定資産税（償却資産）などが増収となり、平成29年度決算の市税収入が前年度を36億円上回る675億円と過去最高額を更新するなど、好調に推移しています。

一方、歳出は、現在、三重とこわか国体に向けた新体育館建設などの大規模投資事業を進めているほか、中長期的には、社会保障関連経費が年々増加していくことに加え、公共施設の改修や建て替えに要する費用が増加していくと見込んでいます。

したがって、市税収入が好調な今から、将来への備えをしていく必要があります。

2



将来に備えるためにどんな対策をしているのかな？

公共施設の建て替えピークが十数年後から始まることから、まず公共施設の総面積の4割を占める小・中学校の建て替えの財源を確保するため、アセットマネジメント\*基金を設置し、積み立てを行っていきます。

\*公共施設の資産(アセット)の管理を全体最適化する取り組み

3

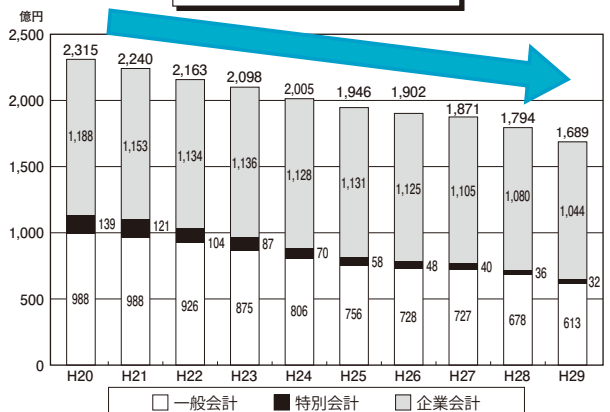


公共施設の建て替えによって、子や孫の世代に多額の借金を残すことにならないかしら？

これまで市債残高の削減に取り組んできた結果、平成20年度末に2,315億円あった全会計市債残高は、平成29年度末には1,689億円に減少しています。

今後は、アセットマネジメント基金を活用して、将来世代の過剰な負担を軽減するとともに、人口が減少して余剰になると見込まれる公共施設の整理統合も視野に入れて、将来世代の市民ニーズに合致した公共施設の最適配置に取り組んでいきます。

全会計市債残高の推移



### まとめ



日本全体の高齢化は2040年ごろにピークを迎え、本市の公共施設の建て替えピークと時期が重なる見通しです。

市税収入が好調に推移している今こそ、できる限り基金の積み立てや市債残高の削減に努め、財政面から将来に備える必要があります。

次回は、「四日市市公共施設等総合管理計画」についてお伝えします。

問い合わせ先

財政課

(☎354-8130 FAX359-0275)

有料広告掲載欄

### 透明マウスピース矯正

- 透明だから目立ちにくい
- 取り外しができる
- 普段通りに歯磨きができる
- 治療開始から完了まで歯並びの変化がわかる

桑名はらだ歯科クリニック ☎0594-27-5454

桑名市新西方7-22イオンタウン桑名新西方内 ●休診 水曜・祝日

### 床矯正

- 歯を抜かなくてもOK!
- 自分で取り外し可能で歯磨きが楽

### 歯科衛生士募集

詳しくは下記TELまで♪

診療日	月	火	水	木	金	土	日
9:30~14:00	●	●	X	●	●	●	●
15:30~19:00	●	X	X	●	●	X	X

※9:00~14:00

院長 原田 聡

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。